

筑波大学

1. 応募資格

(1) 下記要件に合う学生とする。

- イ. 将来実業に従事し、または実業に関する学術の研究にあたらうとする志操堅固の者であること。（「広く社会の発展のために貢献する強い意欲、志のある者」の趣旨）
- ロ. 健康状態良好にして将来修学に耐えうる者
- ハ. 人格高潔にして学業の成績が優秀な者
- ニ. 家計の実情が学資を支出するに困難であると認められる者
- ホ. 2018年4月時点で第2学年に在学する者

(2) 在籍大学の推薦を受けた者

(3) 他の奨学金を受けていない者・受ける予定のない者

(注) 1) 「日本学生支援機構」および「学内の成績優良者表彰制度等」は重複可。
地方公共団体は応相談。

2) 留学のみを対象とした他の奨学金については重複可

(4) 財団行事および奨学生間の交流（含むSNS）に積極的に参加する意欲のある者

2. 指定学部および採用予定数

(1) 指定学部： 社会・国際学群、理工学群、情報学群、生命環境学群

(2) 採用予定数： 第2学年 合計2名

3. 奨学金の内容および支給期間（いずれも給与につき返済は不要）

(1) 支給金額： 月額4万5千円

(2) 支給期間： 正規の最短修業年限の終期まで（最長3年）

(3) 給付方法： 4月、7月、10月、1月に3ヶ月分を銀行振り込みする。
別途、3か月毎、予め決められた月に財団事務所で面談を行う。

*海外留学支援制度あり

当財団の奨学生が、正規の最短修業年限までに3か月以上の留学（除く語学研修）をする場合で、経済的必要性および実効性が認められる時は、以下の奨学金を別途支給する。（AとBはそれぞれ別個に審査）

A. 留学中の奨学金

① 支給金額： 月額5万円（国内奨学金月額4万5千円の上乗せとして）

② 支給期間： 最長12か月

(注) 本留学奨学金については他の団体の奨学金と重複可

B. 帰国後、留学を理由として在籍大学の最短修業年限を延長する場合の国内奨学金

① 支給金額： 月額4万5千円

② 支給期間： 最長12か月

4. 受付期間

2018年4月2日（月）～2018年5月1日（火）（必着）

5. 選考、結果の通知および授与式

財団による面接を5月15日（火）に実施し、結果を5月18日（金）以降、本人および在籍大学に通知する。なお、面接時間等詳細については追って本人宛連絡する。採用された奨学生は5月30日（水）に開催する授与式に参加すること。

6. 財団のホームページ <http://www.kagami-f.or.jp/>

以 上

2018年度 学資給与願

年 月 日

公益財団法人東京海上各務記念財団 御中

貴財団の2018年度国内奨学生募集要項に従い、学資の給与を受けたく申し込みます。

大学		学部		学科		年	
ふりがな				男・女			
氏名				印			
年		月		日生		(満才)	
本人住所 〒				携帯電話番号 (無い場合は固定電話番号)			
E-mail							
①				(財団連絡用/除くhotmail)			
②				(予備)			
帰省先住所 〒				電話番号			
学校区分		学 歴					
中学				卒業		年 月	
高校				入学 卒業		年 月 年 月	
大学				入学		年 月	
得意な学科				所属クラブ等			
趣味				性格			
特技				健康状態			
取得年		月		免 許 ・ 資 格			

写真を貼る位置
 1. 縦36～45mm
 横24～35mm
 2. 本人単身胸から上
 3. 裏面のりづけ

自己紹介書

氏名

あなたは人生で何を大事にし、どのような人間になりたいと考えていますか。（自由に記載）

専攻を予定する学業分野（未定の場合は関心のある学業分野）

学業以外に力を入れている活動

卒業後の進路／将来の職業ビジョン（現時点で考えていること）

海外留学予定・希望（有の場合は時期・国地域・大学・専攻分野等）

有 ・ 無

財団イベント／奨学生交流への参加の確認

当財団には国内大学生およびASEAN出身の大学院留学生が奨学生として在籍しており、奨学生間の交流に積極的に参加する意欲のある人に来て欲しいと考えています。

<参加必須のイベント>

①授与式（含む懇親会）： 5月30日（水）12:00～16:00に東京で開催

②OB・OGを含めた交流会： 11月の平日18:00～20:30に東京で開催（日程未定）

<Facebookグループへの投稿>

財団では奨学生間の情報交換・交流を目的としてFacebookグループを活用しており、奨学生には年一回以上、投稿することを必須としています。

【確認】上記の他、日本の文化にふれる会、奨学生向けセミナー、ASEANを知る会等、任意参加のイベントを実施しています。あなたは、機会があれば積極的に参加する意志がありますか。

家計状態申告書

氏名

家族（父母・兄弟姉妹）と所得の状況					(注)	(注)
父主兄弟 母たる姉 死亡の家 計の所得 は持者は 死亡者に ○印不要 年月を別 居者にX 印	続柄	氏名	年齢	勤務先・職名または学校名・学年	年間所得金額 (税込)	給与以外の所 得金額 (税込)
	父				千円	千円
	母					

(注) 給与所得者は源泉徴収票、給与以外の所得者は確定申告書のコピーを添付。

1年次の収入・支出の状況 (合計は左右同額)

	収入	支出		
本人の 一か月 平均生 活費	家から	円	食費 (本人支出分)	円
	アルバイト (職種:)	円	住居費 (家賃・光熱水道料計)	円
	奨学金 (給与/貸与) (名称:)	円	交通費	円
	(受給期間: ~)		書籍・学用品費	円
			授業料 (大学への平均支払額)	円
			*授業料免除ありの場合の減額率 1年次: % 2年次免除申請予定: あり ・ なし	
その他から ()	円	その他	円	
		()	円	
合計	円	合計	円	

奨学金を希望する理由および家庭状況等

他の団体（日本学生支援機構、学内の成績優良者表彰制度などは除く）の奨学金へ応募していないことの確認：

応募していない 応募している

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次									
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)			
	フリガナ	_____									
	氏 名	_____					家族住所	〒 _____ TEL (_____)			
家 族 及 び 所 得	就学者を除く家族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年		万円	万円		
	母					年		万円	万円		
	父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
	別居者に 家計支持者に ×印	就学者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額	
本人					筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定				
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)				総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額	③ 万円			
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③ 万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。